



第2巻
第7号

平成24年5月24日

JASWHS 公益社団法人 日本医療社会福祉協会
Japanese Association of Social Workers in Health Services

東日本大震災 MSW災害支援ニュース



群馬県吾妻郡高山村のロックハート城

目次

1. 災害対策本部からのお知らせ
2. 災害対策本部会議の議事録
3. 現地・事務所感想文

災害対策本部からのお知らせ

協力員募集！！

引き続き協力員を募集しています。

＜現地＞ 今後しばらくは週2名ずつ程度の募集をいたします。

中3日以上・曜日はなるべく平日をお願いいたします。

具体的な日程については、災害対策本部までお気軽にご相談ください。

(*詳しくは今号掲載の災害対策本部議事録をご覧ください)

＜事務所＞平日のみの活動ですが、1~2ヶ月に1回でも構いません。

皆様のご協力をお願いいたします。

次回災害対策本部会議について

5月12日(土)の議事録を掲載していますのでご参照下さい。

次回は6月2日(土)18:00~ 協会事務所にて開催します。

ご意見や検討事項がありましたら、5月30日(水)までに災害対策本部まで、電話やメールでお寄せ下さい。

全国大会のご案内

全国大会はいよいよ今週開催です。

以下、災害関連の企画を予定していますのでご期待下さい。

- ・5月25日(金) 15:00~18:00 シンポジウム

「東日本大震災における医療ソーシャルワークを検証する」

岩手・宮城・福島各県から、保健医療福祉分野で活躍されている方々と医療ソーシャルワーカーをシンポジストに迎え、大災害時における保健医療福祉の連携の課題を討論します。

- ・5月26日(土) 9:00~12:30 分科会

第5分科会【教育・スーパービジョン・災害ソーシャルワークII】にて現地支援活動と事務所支援活動について3演題発表します。

- ・パネル展示 昨年度1年間の活動を報告予定です。
- ・書籍販売



『東日本大震災 医療ソーシャルワーカーの支援のバトン1』

定価1,000円 (A5版 156頁 フルカラー)

発災から9月30日までの、石巻・仙台・大槌町・事務所・災害対策本部の活動の記録を1冊の本にまとめました。ぜひご覧ください。

尚、売上金は皆様からの寄付として、本活動の資金に充てさせていただきます。

現地・事務所職員募集！！

災害対策本部では現地・事務所職員を随時募集しています。
災害支援に関心のある方からのご応募をお待ちしております。
または周りでご興味のある方がいらっしゃいましたら、ぜひご紹介下さい

(1) 現地常駐者（短期契約職員）

- ・就業場所：宮城県石巻市大街道北
- ・就業時間：9～17時
- ・休日：土曜・日曜・祝日・年末年始
- ・基本給 250,000 円/月 通勤費は実費支給
- ・社会保険加入
- ・医療ソーシャルワーカー業務経験必須
- ・長期の方優遇

(2) 災害対策本部事務所担当（パート職員）

- ・就業場所：協会事務局内
- ・就業時間：週4日程度 10～17時
- ・休日：土曜・日曜・祝日・年末年始
- ・時給 900 円～ 通勤費は実費支給
- ・経験不問、医療ソーシャルワーカー業務経験者優遇

ご応募の方は下記宛に履歴書をお送り下さい。面接にて決定させていただきます。
または災害対策本部までお気軽にお問い合わせ下さい。

〒162-0065 東京都新宿区住吉町 8-20 四谷チンゴビル

TEL：03-5366-1057 担当：笹岡・中川

Facebook でも情報をお伝えしています！



現地や災害対策本部の日々の様子をお伝えしています。
応援よろしく願いいたします。

-Facebook URL-

<http://ja-jp.facebook.com/pages/公社日本医療社会福祉協会-災害対策本部/156327867812970>

第5回 災害対策本部会議

2012年5月12日(土) 18:00～

(敬称略・順不同)

出席 佐原・笹岡（～18:45）・武山・梅崎・山田（19:00～）・飯島・東（19:00～）三輪・一原

欠席 坪田・小淵・中川

1. 災害対策本部 事業全体について

(1) 財政面

●中川事務局長より予算確保と経費削減依頼

収入見込：石巻市委託金（3.5名：月110万円程度）⇔ 支出見込：最低でも月150万円

- ・足りない分は後から請求できるという話だが、できない場合も考えておく必要あり。
- ・助成金の申請を積極的に行っていく。まずは中央共同募金を申請。
- ・委託金の使途の規定、「3.5名」の考え方、委託金の振込時期、報告書の出し方等について、5/17(木)に笹岡副本部長と武山から市に確認する。

※報告書については、昨年度、他業者で委託金の不正請求があったこともあり、石巻市では今年度、委託業者に詳細な報告書の提出を義務づける方針

- ・協力員の派遣のルールは(2)人事面で討議する

※災害派遣等従事車両証明 3月31日で終了（ホームページは至急変更する）

(2) 人事面

●職員

現地職員

4月～ 依光着任

5月末～9月末 1名採用希望者あり、早々に進める

7月～ 1名採用予定

※武山より徐々に引き継いでいく

現地の方の採用を目指し、社養協東北ブロックへの働きかけも継続

事務所職員

5月～1名雇用（三輪） 週3日勤務 一原より引き継ぎ

※どちらも求人は継続する。

●協力員

現地協力員 【現行ルール】1日2名まで、中3日以上、なるべく平日
※2日間や3名以上は断るケースもあり

暫定ルール

- ・人数は週2名程度を目安とする
- ・期間は原則として異動を含まず中3日以上
- ・曜日は基本的には平日
- ・初めての都道府県は優先的に受ける
- ・各都道府県で災害支援活動の予算立てをしている場合は、費用負担を相談する

・現地活動の研修体制の必要性

すぐにはできないが、ニッセイ財団助成金事業として行えるよう検討していく。

事務所協力員 【現行の体制】 月～金 10～17時

協力の申し出は積極的に受けていく。ただし土日は事務所の施設管理の問題もあり、今年度は原則として活動しない。

●現地活動拠点について

中里の在宅避難世帯サポートセンター（石巻医療圏健康・生活復興協議会）にSWの事務所機能を一部移転した。ここで当該事業の業務を行う。SW3名分のデスクと電話あり。PCは本協会から持ち込み。また男性用の宿泊部屋1室を新サポートセンターに確保。運営費用の負担については今後協議する。

●組織と役割分担（敬称略）

役割	担当
行政・関連団体の折衝	笹岡
現地支援活動 責任者	武山
サポートセンター常駐	依光
サポートセンター常駐＋訪問	依光＋武山＋採用予定者
短期支援	協力員
拠点事務所統括職員	武山
データ解析・研究員	梅崎
自動車管理	中川
本部事務所支援活動 責任者	東（依頼予定）
パート職員	三輪
ニューズレター担当	小淵
単発・不定期支援	協力員
ニッセイ助成金事業	災害対策本部 世話役として佐原・笹岡・ 梅崎・各フェーズの現地責任者
資金調達	坪田（依頼予定）
決算および収支報告	坪田（依頼予定）
活動報告作成	権田（依頼予定）
広報・報告	飯島（依頼予定）

●研究組織・業績についての確認

- ・研究組織の必要性：日本医療社会福祉協会 災害対策本部 付 「検証委員会」の立ち上げを検討
- ・業績
執筆者の業績にはなるが、本協会としての知的財産となる。
協会がまとめ、災害ソーシャルワークとして皆で使えるものにしていく必要がある。
名前は、研究者の名前＋分担執筆者＋「日本医療社会福祉協会」を表記する。
分担執筆者を募る場合は、事務所を介して行う。
- ・研究を行う場合のルール
委託元である石巻市の許可や報告等について、検証委員会で検討していく。
臨床として行ったことは被災者の同意を得ておらず基本的に学会報告は不可。
- ・協会員が協会外で取り組んできた災害支援について
協会で行った支援だけが災害支援ではないので、協会としてまとめていけるよう検証委員会で検討。

(3) 災害支援 SW 報告会

- 5月13日(日) 13:30～16:30 大阪協会 武山参加
- 5月18日(金) 19:00～ 神奈川県協会 武山・一原参加
- 次回以降の開催候補地 (2ヶ月に1回を目安)
 - ・6月13日(水) 報告会を予定している病院があり、本部として協力を検討
 - ・その後の開催地は次回以降の会議で検討

(4) 全国大会

- 5月25日(金) シンポジウム「東日本大震災における医療ソーシャルワークを検証する」
- 5月26日(土) 分科会 (現地2演題、事務所1演題)
- 書籍販売『東日本大震災 医療ソーシャルワーカーの支援のバトン1』
日本医療社会福祉学会の災害冊子、チーム医療推進協議会冊子とともに販売する
チラシ兼注文書を配布する
- ポスター展示

(5) ニッセイ財団助成金事業

- 5月27日(日) 災害ソーシャルワーク研修Ⅰ
 - 8月4日(土) 災害ソーシャルワーク研修Ⅱ (会場：聖路加国際病院 内容：近く検討予定)
- その他、災害SWの研修プログラム開発に向けその研究および研修開催方針について等、検討予定

(6) 日本ソーシャルワーク学会

学会誌の「災害とソーシャルワーク」特集に原稿依頼あり、梅崎が執筆（10月末締切）

6月8日～10日 開催の学会にて中間報告の依頼もあり、梅崎より報告。

(7) IFSW

7月8日～12日 国際会議にて社専協としてポスター発表予定。当協会は3枚スライドを準備する。

※他の学術団体での発表

社会福祉学会・日本医療社会福祉学会を検討

2. 事務所支援活動

● 広報

①ホームページ 動画（活動概要）のアップを予定

②Facebook Follow数：24人（2月28日 現在）→ 44名（4月5日 現在）→ 56名（5月12日 現在）

<活動者からの意見>

◆都道府県単位のHPから日本医療社会福祉協会のボランティア詳細にリンクしていれば、もっとボランティア参加者は増えると思います。（4月30日～5月5日参加者より）

→会長会のMLにて依頼していく

3. 現地支援活動

- ・ 2期調査が始まってみないとSWのフォローについてのニーズ・量が見えてこない。
- ・ 調査そのものに同行、感触を掴むことも検討要。
- ・ 1期フォローは引き続き行う。（不在・訪問要・継続）
- ・ 仮設支援のかたち、訪問看護師との協働の程度検討。
- ・ 開成、新診療所との協働（6/1開設、介入依頼がくる可能性あり）
- ・ 医療連携実務者ネットワークの事業支援

4. 次回予定

次回：6月2日 [土] 18:00～

次々回：7月21日 [土] 18:00～

*8月以降は次回決定

現地感想文

5月15日（火）

ここ数日の石巻は肌寒く、東京にコート置いてきたのを後悔しています。事務所ではまたストーブをつけました。東京の明日は27度とか？石巻もさすがに少し暖かくなるようです。

5月16日（水）

密度の濃い一日でした。子ども問題が心理面、健康面でもニーズが再燃してきています。

取り組まねばならないことがたくさんあり、次々です。

明日は、元気な若い方たちが参加予定。賑やかになるでしょう。

5月17日（木）

現地ワーカーとの交流会。

震災直後、SWに支援に入ってもらえたら救えた命がもっと…と。トリアージに、後方支援に…、これからの災害時に、すぐにすべき支援、出来ることが、悔し涙と一緒に話されました。まだまだ、語ってほしいことがいっぱい。でも彼ら、彼女らも「被災者」。未だ、語れないこともたくさんあるでしょう。

また、話そうねと、惜しみつつ別れました。遅い春の宵です。

事務所感想文

5月14日（月）

安仁屋（厚生中央病院）

休み明けに1人でと無謀なボランティアでした。PM2:00過ぎにしか伺えなくてすいません。明日の東さんと一原さんに申し訳ないです。ごめんなさい。

5月16日（水）

三輪（事務所担当者）

今日は初めて1人の事務所で緊張しました。午前中は、まごつくことが多く、ひとつの仕事に随分と時間が掛かってしまいました。早く慣れるといいなと思います。

5月17日（木）

一原（事務所担当者）

事務所は三輪さんが加わって下さり仕事がよく進みます。やはり1日2人いるとやりやすいです。そんな折、事務所協力員の新規応募をいただきました。その方の要望で公文書を発行しました。これでその方が参加しやすくなるのであれば嬉しいです。事務所のできることは何でもしますので皆様もお気軽に御相談ください。